



令和4年4月15日



西都銀上学園だより

西都銀上学園 学校だより 文責 校長 山之内善徳

令和4年度もよろしくお祈いします。

あつという間に桜の花も風とともに舞っていき、新緑の中で小鳥のさえずりや小川のせせらぎが、新しい出会いを待ち望んでいたかのように聞こえてきます。銀鏡・上揚地区で2回目の春を迎え、これから始まる子どもたちとの学園ドラマに、夢と希望いっぱいワクワクしています。

本年度も、地域の皆様には、田植えから稲刈り、はちみつや山菜採りなどの銀上地区ならではの体験活動をはじめ、銀鏡神楽の伝統芸能の継承活動、子どもたちの見守り活動や、放課後の創生会での学童など、子どもたちが本当にお世話になります。

まだまだコロナ禍で先の見えない中ではありますが、実親、里親、地域の皆様のご期待とご支援に応えるべく本校教職員15名で、子どもたちの可能性を最大限に引き出し、いけるような学校教育を展開していければと考えております。そして、学校から元気と笑顔をお届けられますよう尽力していきます。皆様のご協力をよろしくお祈いします。

始業式・入学式・山村留学歓迎式が行われました。

4月7日(木)に始業式、8日(金)に入学式、10日(日)に山村留学歓迎式が行われました。本年度は、小学校1名、中学校2名の児童生徒が入学しました。また、新規の山村留学生10名が本校児童生徒の仲間になりました。始業式では、全校児童生徒一人一人が「自然の中で色々な体験がしたい。」「勉強を頑張ります。」「受験生になるので頑張りたい。」など、それぞれの学年に応じた目標を発表してくれました。また、入学式では、代表生徒が「大自然の中で勉強を頑張る、仲間と助け合いながら頑張ります。」と誓いの言葉を発表してくれました。また、山村留学歓迎式では、実行委員会の進行で、里親さんたちが見守る中、これから始まる生活に思いをはせ、楽しそうに参加していました。

